

朝日生命成人病研究所付属医院に通院中の患者様へ

診療記録を利用した後ろ向き観察研究への協力をお願い

研究課題	虚血性心疾患及び脳血管障害の既往歴のある糖尿病患者と糖尿病性網膜症の関連についての探索的研究
研究の目的および概要	糖尿病性網膜症は、糖尿病の三大合併症の一つです。早期に診断、適切な治療を適切な時期に行うことで、視力を維持できますが、現在の日本の中途失明の重大な原因となっています。糖尿病性網膜症があると虚血性心疾患や脳血管疾患である大血管障害になりやすいことは、多くの研究により知られています。しかし、逆に大血管障害があった場合網膜症発症と関係するかは不明です。そこで、大血管障害のある2型糖尿病患者の糖尿病網膜症発症の詳細を明らかにして、糖尿病性網膜症の予防や早期発見、早期治療の役に立つことを目的とした研究を実施します。
対象	2000年~2022年の間に朝日生命成人病研究所付属医院を初診した2型糖尿病の方
方法	本研究は朝日生命成人病研究所付属医院倫理審査委員会の承認を受けて実施するものです。これまでの診療カルテに記載されている、年齢、性別、血液・尿検査、糖尿病歴、既往歴、眼底検査、診療内容等を調査します。 過去の診療記録を用いて行う研究ですので、該当する患者様の現在・未来の診療内容に不利益を与えることはなく、また、新たにご負担いただくことはありません。
個人情報保護	この研究に関わって収集されるデータなどは外部漏洩がないように慎重に取り扱います。診察券番号、氏名、住所、生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたにも分からないようにした上で、個人情報管理担当者にのみ使用できるパスワードロックをかけた別媒体で厳重に保管します。ただし、必要な場合には当研究室に置いてこの符号を元の氏名などに戻す操作を行うことはできます。 研究結果は、個人が得る出来ない形式により学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。
研究者	朝日生命成人病研究所（栄養管理科部長）菊池貴子 明治薬科大学 榎山暁史、五藤由奈、五十嵐千都、神山奈子、山口知沙、赤沢学、高橋雅弘
利益相反	本研究に関して開示すべき利益相反はありません。

本研究に関してご不明な点がある場合や、あるいは、データの使用に同意されない場合には、下記連絡先にご連絡いただけますようお願い申し上げます。また、本研究への参加をお断りになった場合にも、将来的に当院における診療・治療面で不利益を被ることはございませんのでご安心ください。

研究責任者：朝日生命成人病研究所付属医院糖尿病代謝科 栄養管理科部長 菊池貴子

住所：〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町 2-2-6

TEL : 03-3639-5501、Fax : 03-3639-5520